

イン・ビトウィーン

とき・10/14(土)～1/28(日)
ところ・2階展示室

内容・本展覧会は、近年当館の収蔵作家となった早瀬龍江、ジョナス・メカス、林芳史に、ゲスト・アーティストとして潘逸舟を加えた4名の作家に焦点をあてます。日常的な営みを起点に、絵画、版画、ドローイング、映像などそれぞれのメディアを用いて、他者との境界やアイデンティティについて思索を深める各作家の足跡を、作品や資料、関連作家の作品を交えて紹介します。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○ジョナス・メカス映像作品上映会&トーク

とき・上映会:12/24(日)13:30～15:15(開場は13:00)
・トーク:12/24(日)15:30～(1時間程度)

※ゲスト 清原惟(映画監督・映像作家)
井戸沼紀美(「肌蹴る光線」主宰)

ところ・2階講堂/費用・無料/定員・各60名(事前予約制)

申込受付・当館ホームページからお申込みください。
※上映プログラムなど詳細はホームページをご覧ください。
※先着順のため、申込みを締切っている場合があります。

○担当学芸員によるギャラリートーク

とき・1/13(土)15:00～(30分程度)
ところ・2階企画展示室 ※企画展観覧料が必要です。



ジョナス・メカス《ウーナ・メカス5才 猫とホリス(母)の前でヴァイオリンの稽古 1979》1983年

《関連イベント》

○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。
とき・1/28(日)15:00～15:30

担当学芸員・菊地真央

作品・牧野虎雄《晩き夏》1927年

《関連展示》

○寄贈資料紹介 一岩城邦男コレクション

とき・10/14(土)～1/27(土) 毎週火・木・土
13:00～15:00/15:15～17:00

ところ・3階資料閲覧室/観覧料・無料

内容・故・岩城邦男氏が蒐集した小村雪岱関連の資料が令和5年度に寄贈されました。その一部をご紹介します。

公募展 応募作品展示中

「みつめて、かんにて、たべてみて! 一作品のみかた・味わいかた」

とき・11/14(火)～1/28(日)

ところ・1階ギャラリーまわり ※無料スペース

内容・総合グランプリをはじめとする受賞作品のほか、ご応募いただいた全129作品を展示いたします。

アート体感ワークショップ

MOMASのとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《1月のプログラム》

1月分のお申込みを12/1(金)から受け付けます。

○フリープログラム ※事前申込み不要

とき・1/13(土) 13:30～15:00

対象・どなたでも/費用・無料

※いくつかのプログラムを実施する予定です。

○工房

とき・1/20(土)、27(土) 各日13:30～15:00

対象・小学生～大人/費用・500円

《2月のプログラム》

2月分のお申込みを1/5(金)から受け付けます。

○親子クルーズ

とき・2/3(土)、10(土) 各日13:30～15:00

対象・小・中学生+保護者/費用・500円

※「親子クルーズ」は、MOMASコレクションか企画展のどちらかに関連した活動を行います。

※開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ

<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆11/29(水)～12/3(日)

第14回埼玉県障害者アート企画展(カミングアート2023)……………一般展示室1・2
アートミーティングatさいたま国際芸術祭…一般展示室3
南関東・甲信ブロック合同企画展2023(カウンターポイント)……………一般展示室4

◆12/5(火)～12/10(日)

第57回全日本書道芸術展……………一般展示室1・2
何気ない日々の一期一会(野口泰久写真展)…一般展示室4

◆12/12(火)～12/17(日)

永山佐和子水彩画展……………一般展示室4

◆12/23(土)・12/24(日)

第58回郷土を描く児童生徒美術展……………一般展示室1～4

◆1/9(火)～1/14(日)

第26回凧の会展……………一般展示室1～4

◆1/16(火)～1/21(日)

第45回埼玉県書道人連盟役員新春展・併催「大作展」……………一般展示室1～4

◆1/23(火)～1/28(日)

文教大学教育学部学校教育課程美術専修卒業制作展……………一般展示室1
文教大学OB・OG展……………一般展示室3
アートでつながる作品展 第1回ファミスフェスティバル……………一般展示室4

MOMAS コレクション (収蔵品展)

とき・12/2(土)～2/25(日)

※会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:1/14(日)まで/後期:1/16(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

◇セレクション

クロード・モネ、マルク・シャガール、佐伯祐三 ほか

◇魅惑のリアリズム

倉田弟次郎、上田薫など近現代の画家や彫刻家らによる「リアル」な表現に注目し、その多彩な魅力を紹介します。



橋本雅邦《竹梅図》1898年(後期展示)



※本紙記載の展覧会やイベントは、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・<https://pref.spec.ed.jp/momas/>
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(1/8は開館)、年末年始(12/25～1/3) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場の「タイムズ 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



いつでもどこでもカンタン便利!
定期券を買うなら、モバイルSuicaで!
モバイルSuicaで定期券を購入する際は、Suicaアプリの「Suica」タブから「定期券」を選択してください。

コレクション・ノート

早瀬龍江《妖火》1954年

今回ご紹介する作品は企画展「イン・ビトウィーン」に展示中の早瀬龍江《妖火》です。暗い色調の背景のなかに量感のある手指と蠟燭が描かれており、人差し指から手の甲の筋に沿って白い二つ穴釘が縫い付けられています。タイトルに示唆される炎は、蠟燭の先端ではなく指先に纏わりつくように揺らめき、よく見ると真っ赤な眼を持つ不定形の生命のようでもあります。



早瀬龍江《妖火》1954年

本作は早瀬とその夫・白木正一が所属していた美術文化協会にて親交を結んだ作家が所有していたもので、令和3年度にご親族からご寄贈いただきました。早瀬は戦前、福沢一郎の絵画研究所でシュルレアリスムの手法を学び、主に身の回りにある日用品をモチーフとして取り上げ、現実と空想の狭間の世界を描きました。本作が制作された時期は、作家の関心が身体の描写へと移行していく過渡期であったと考えられます。皺のひと筋まで捉えられた素朴な左手は、作家自身のものかもしれません。

ところで、本作の画面右下には「Tatsue 1954」とサインがあり、当館ではこの年記を制作年として採用しています。しかし、1991年に刊行された『早瀬龍江画集』には「1958年」の制作と記載されています。このずれはどこからくるのでしょうか。事実的な背景として、本作は第20回美術文化展(1960年)に出品されたことが分かっています。夫妻は1958年10月にニューヨークへと渡ったため、過去に制作した既存作の出品になったと推察されます。また、画集には第18回展の出品作とも記されていますが、当時の美術文化展の目録を確認したところ《妖火》という作品名の掲載は見あたりません。上述の画集は、晩年の夫妻が1989年に飯能へと帰国した際、知人や弟子の方々が協力し、船便で持ち帰った作品群の梱包を解いて整理、撮影を行って制作されたそうです。夫妻それぞれ200点近い図版を掲載し、さらに2冊を同時刊行ということで、関係者にとっては大きな出来事だったことでしょう。作品整理の際には、サインのない絵は早瀬と白木がその場で記憶を辿り、制作年をマジック等で書き入れることもあったそうです。本作のサインは制作当時のものと推測されますが、そういった作業のなかで、画中の年記と異なる情報が採用されたのかもしれません。

画集には豊富な図版とともに、親交のあった作家や弟子の方々のテキストのなかで当時の夫妻の様子が語られています。特に『白木正一画集』に収録されている白木と関係者の座談会は、当時の作家間の交流や美術文化協会の出来事、時代背景がうかがえる読み応えのあるテキストです。3階の資料閲覧室*で読むことができますので、この機会にぜひ手に取っててください。(S.Y.)

*開室日時は毎週火・木・土(13:00～15:00/15:15～17:00)



右:『早瀬龍江画集』早瀬龍江画集刊行委員会、1991年
左:『白木正一画集』白木正一画集刊行委員会、1991年

ミュージアム・ショップおすすめ商品

建築ポスターメーカーのエディション・リディアルテ社(ドイツ)から「椅子のペーパークラフト・カード」が入荷しました。世界の有名プロダクトのカードです。少々難しそうですが、切り取って組み立てるのもよし、展開図として飾って愛でるのもよし。インテリア好きなお友達へのバースデー・カードなどにもいかがでしょう。「レッド・アンド・ブルー」「LC4」「バルセロナ・チェア」の3種類があります。

サイズ:104mm×147mm
価格:各440円(税込)

